

創刊 藤原田 親

No. 899

2019/7/25


日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都中央区浅草橋2-2-3
浅草橋5-5 5階
電話 03-5839-2149(F)
FAX 03-5839-2141
http://www.jcf-jcfr.jp
E-mail: jcf@jcf.jp
社址 06119-1-2117

日中友好協会
岡山支部
〒708-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL/FAX 0861-258-8406

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福河町東22461-45
TEL/FAX 0861-411-7806

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net
メールアドレス
rizhongyouhaoiehiokayama@yahoo.co.jp



安倍9条改憲阻止

―6・29岡山市統一行動―

小林軍治

岡山市九条の会連絡会は、岡山県9条の会が呼びかけた統一行動(6月29日を基本にその前後)に応え、



次のような行動を実施しました。
6月29日(土)の13時〜14時、岡山市表町アリスの広場前で音の宣伝、ビラまき、安倍9条改憲NO!の3000万人署名にとりくみました。
音の宣伝では、県9条の会の伊原事務局長、操南地域9条の会の近藤さんと小生の3人が訴えました。

私は次の二点を強調しました。

第一点は、トランプ発言(安保条約は不公平だ。アメリカは日本を守るためにたたかうが、日本はアメリカが攻撃されてもたたかわない。など)により、安倍9条改憲のねらいがあきらかになった。すなわち、現行憲法では9条があり、集団的自衛権を全面的に行使できない。9条に自衛隊を明記することにより、この制約をはずし、米軍と一体となって血を流す自衛隊にすることだと強調した。

第二点は、6月29日は、米軍により岡山市が空襲され多くの市民が犠牲になり、平和について考える日であることを話した。そして、先のアジア・太平洋戦争では、アジアの人々2000万人、日本国民310万人が命を失った日である。これらの犠牲の上に、現在の9条を持つ平和憲法が生まれたことを話した。
ビラは、表に「平和の守り札」裏に「憲法九条の全文」を書いた名刺を約1



50枚配った。
従来のビラと大きさ、内容も違いよく受け取ってくれた。会話のきっかけにもなった。
署名は27筆集まりました。

憲法九条【戦争放棄、軍備及び交戦権の否認】
(1) 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は(また)は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
(2) 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。
岡山県9条の会(岡山市北区伊福西町1-53民生会館内)

条の会(土井)、操南9条の会3人(近藤・小林軍・小林愛)の計9人が参加しました。

岡山民報の取材がありました。今後は参議院選の結果をもとに、岡山県・市9条の会連絡会は、それぞれ事務局会議を開き、安倍9条改憲「阻止まであきらめず」にたたかう決意です。

「芳田日本語学習講座」の料理教室

芳田日本語学習講座は、日中岡山支部主催の中国帰国者を中心とする、日本語教室です。この教室は、2011年10月に芳田公民館を会場に開講しました。

現在は、週一回(火曜日)の14時30分〜16時30分(三人(小林・貝吹・三宅)の会員が講師をしています。登録している受講生は七人です。日本語学習だけでなく、中国・日本の料理教室及び校外学習(お花見会・岡崎嘉平太記念館の見学など)にも取り組んでいます。今回は、6月25日(火)の、料理教室の様子を報告します。 啊!真好吃!

貝吹佳代子(講師)

6月25日、芳田日本語講座は、芳田公民館で参加者7人で料理教室を開きました。
この日のメニューは、おでんとおにぎりです。この時期におでん?と思うかもしれませんが、なんと小林先生が手作りのお伝を持つてくるということ、全員二つ返事で決まりました。

おにぎりは受講生も初めての体験なので、「三角形にならないわ。」中に鮭が入らんわ。」と言いつつながらも、楽しい形のおにぎりが出来ました。そして、おでんを食べた瞬間、みんなの顔があまりの美味しさにびっくりして声が出ず、目をくるくるさせていました。すると、小林先生が「こんにゃく・大根・卵は味がなかなか染み込まん

から、柔らかくなるまで別に茹でてくるよ。それから味を付けるんだよ。」と。
キヤー先生の口から料理の説明??に全員びっくりポンです。やはり、喜寿を迎えられると一段と素敵さが増すのだと思えました。
この度の料理教室は、いつもの勉強とは違い日ごろの悩みや、これからの事など、普段聞けない事を聞くことが出来て、とても良い時間が持てたと思えました。そして、手作りのおでん、手作りのババロア、そして皆で作った四角や台形のおにぎり。

啊!真好吃

2面につづく

日本料理の体験

益田聖子(受講生)

2019年6月25日、芳田日本語講座の生徒は日本料理を体験しました。

小林先生と三宅先生はおでんとババロアを作りました。そして皆でおにぎりを作りました、形がなかなかきれいにできないので先生は熱心に指導してくれました。そのうえおでんとババロアの作り方も教えてくれました。

3週間前に小林先生はおでんを作ってくると言いました。みんなとても嬉しいですが、ちよつと信じられない。先生も料理ができますか、家でよく料理を作りますか、それなら奥さんはきつと喜んでしょう。先生は上手

でないと言いましたが、時々つくります。楽しみです。

私は日本料理が大好きです。時々お寿司、肉じゃが、おでんなどを作ったけどあまりおいしくできませんでした。先生が教えてくれた味とは違います。今回小林先生が作ったおでんを食べましたが、本当に違いますね。ちよつとよく煮えていて、色もきれいで、味もいいです。本場の日本料理といえます。こんなにおいしいおでんは初めてです。あつさりしていて、口にあつて、知らず知らずのうちに食べすぎました。

みんな食べながら、日本料理の体験を歓談しました。料理を学ぶのはやさしいと思いますが、作るのには難しいです。

芳田日本語講座はもうすぐ8年に



左から守本、山根、守本、小林、三宅、益田、貝吹

なります。先生たちが日本語や日本料理、日本の習慣などを教えてくれます。日本語のレベルも年々高くなっています。本当にありがとうございます。今後も一生懸命勉強して、日本語がもっと上手になりたいです。

米中経済対立の構造的背景を学ぶ(2) 倉敷支部・岡山支部の文化講演会

日中友好協会倉敷支部理事長 宇野忠義

3 中国の貿易黒字が米国の経常収支赤字を埋め合わせる構造

中国の国際収支は、物品の貿易収支は近年では、3000から4000億ドルの黒字で、サービス収支では1000から2000億ドルの赤字になっており、また、国内投資よりも国外投資が増えていることが特徴です。さらに、外貨準備も近年は単年収支で黒字から赤字に転じています。

中国政府は為替市場を管理下に置

いており、貿易黒字に加えて先進国の中投資にも規制を加え、為替市場に介入し、為替相場を輸出に有利な人民元安に誘導してきました。外貨準備高は世界一となり、2017年には3兆2359億ドルにも達しています。この巨額の外貨で米国の国債や米資産の購入となり、米国の赤字を埋め合わせてきました。

このように、米国と中国は貿易、金融で強い相互依存関係にあり、いわ

ば、中国なくして、米国立たずの関係にあります。ただし、2015年以降、中国の外貨準備高が減少し、対米ファイナンスの役割が低下してきています。

5 まとめ

6月末のG20の際の米中首脳会談では、第4次の経済制裁を科すことが決まりました。妥協が成立するかどうかは、ハイテク分野と産業構造の問題を抱えており、長期にわたる構造的な問題として、容易には見通せません。

4 中国製造2025とハイテク分野の競争、しごきを削る対決点

中国は2025年までの目標として、世界の製造強国の仲間入り」を掲げ、産業用ロボットでは、自主ブランドの市場占有率を70%、次世代通信規格「5G」の鍵を握る移動通信システム設備では中国市場で80%、世界市場で40%などを目指しています。そのため、中国政府はドル準備を使い、国有企業の米進出を支援し、ハイテク企業の買収をはかってきました。

ハイテク分野は、今後の次世代の産業構造をどうするか、また、安全保障の問題にもなり、妥協の困難な双方に

とつてしごきを削る一大課題、引くに引けない橋頭堡となっています。2大強国の主導権争いです。

さらには、従来の日米が背を向けてきた、中国主導のアジア・インフラ投資銀行の設立と、その融資を基盤にして中国の「一帯一路」の経済圏の拡張が、米国の対外経済戦略と衝突するようになってきました。ここには、発展途上国の開発援助を巡る中国と日米の権益の衝突が反映しています。

その他の問題としては、トランプ大統領の「アメリカン・ファースト」のようなポピュリズム(キリスト教保守派と職をなくした白人層への迎合主義)を最大限利用した米国の「覇権主義」の再編成の問題があり、他方は、中国の政治体制(共産党と官僚による強固な統制)が変わりうるか、という問題も抱えています。

これらは、米中を含めた各国の国民の真の民主主義を実現する長期にわたる取り組み、活動にかかっているといえよう。それには、科学者・専門家による正確な知識と分析に基づく事実認識と相互の理解が不可欠であり、言論・報道の自由も必要です。逆に、無知は専制主義をもたらすこととなります。香港の動向も注目されます。

次回の新聞送付作業は
8月1日(木)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

飼林田内
大小真竹